

平川亮一教授略歴・著作目録

略 歴

- 一九三三年一月二日生
一九六一年三月 九州大学法学部卒業
一九六四年三月 九州大学大学院法学研究科（社会法専攻科）修士課程修了
修士論文「わが国最低賃金法に関する研究」
福岡県行政職（上級職）採用
三重県津市立三重短期大学講師
岐阜歯科大学助教授
名城大学法学部法学科教授
名城大学法学部応用実務法学科教授
名城大学を定年退職
- 二〇〇四年三月 三重県地方労働委員会公益委員
三重県地方最低賃金審議会公益委員
三重県地方最低賃金審議会公益委員
愛知県地方最低賃金審議会公益委員
を兼任する
- 二〇〇〇年一〇月 労働大臣表彰を受ける
二〇〇四年三月 勲四等旭日小綬章を受ける

- 一九九四年
二〇〇二年一月

- 労働大臣表彰を受ける
勲四等旭日小綬章を受ける

著作目録

分担執筆書

| | | |
|-------------------|-------|------|
| 現代法学講義（林迪廣編） | 法律文化社 | 一九七四 |
| 判例コンメンタール（本田淳亮ほか） | 三省堂 | 一九七六 |
| 社会保障法（林迪廣ほか） | 法律文化社 | 一九八七 |
| 現代労働法（石松亮一ほか） | 中央経済社 | 一九八九 |
| 医事紛争解決の手引（宮沢俊夫ほか） | 新日本法規 | 一九九五 |

論文等

| | | | |
|---------------------------------------|-----------|---------|------|
| 「超法規的違法阻却事由」の理論と その労働刑事事件への適用をめぐって | 三重法経 | 二二号三九頁 | 一九六九 |
| 可罰的違法性の理論と労働刑事事件 | 三重法経 | 一三三号五一頁 | 一九七〇 |
| 通勤途上の災害——その業務上外認定基準をめぐって—— | 三重法経 | 二二五号一頁 | 一九七一 |
| 就労請求権と労働仮処分 | 三重法経 | 二八号一三頁 | 一九七二 |
| 法人格否認の法理とその労働事件への適用 | 北陸労研 | 七九号二頁 | 一九七五 |
| 健康権論序説 | 岐阜歯科大研究報告 | 一号一九頁 | 一九七五 |
| 「医事法」素描（その一） | 岐阜歯科大研究報告 | 三号一頁 | 一九七七 |
| 「医事法」素描（その二） | 岐阜歯科大研究報告 | 五号三一頁 | 一九七九 |

| | | | |
|-----------------------------------|----------------------------|-----------|------|
| 労委命令と司法審査の限界 | 日本労働法学会誌 | 五八号六七頁 | 一九八一 |
| 労働仮処分の課題（一） | 岐阜歯科大研究報告 | 七号一頁 | 一九八一 |
| 最低賃金法制の原則と課題 ——わが国最低賃金の形成と発展—— | 三重法経 | 五四号一頁 | 一九八二 |
| 労働仮処分の課題（一・完） | 岐阜歯科大研究報告 | 八号三九頁 | 一九八二 |
| 団結権侵害排除の仮処分の当否をめぐって | 社会法の現代的課題 | 一七六頁 | 一九八三 |
| 愛煙の法理、嫌煙の法理 | 岐阜歯科大研究報告 | 九号一頁 | 一九八三 |
| わが国の医療制度の形成過程とその現代的課題 | 岐阜歯科大研究報告 | 一〇号一頁 | 一九八四 |
| 緊急命令 | 現代労働法講座 | 一四卷二〇八頁 | 一九八五 |
| 労働事件と法人格否認の法理 | 名城法学 | 三六卷別冊四六七頁 | 一九八六 |
| 労働法と可罰的違法性の理論 | 名城法学 | 三七卷別冊二七三頁 | 一九八八 |
| 不当労働行為救済の法理と損害補償 | 労働法学の理論と課題 | 三二〇頁 | 一九八八 |
| 外国人労働者の受け入れをめぐる課題 | 名城法学 | 三八卷別冊一一三頁 | 一九八九 |
| 就業規則の不利変更をめぐる法理 | 名城法学創立四〇周年記念論文集 法学篇 | 四五五頁 | 一九九〇 |
| ユニオン・シヨップ制を再考する | 名城法学 | 四二卷別冊四七五頁 | 一九九二 |
| 労働委員会と裁判所の論理の相違 | 名城法学 | 四八卷一号一五一頁 | 一九九八 |
| 日本医療保障制度の基本的検討 | 名城法学五〇周年記念論文集 五〇卷別冊四五五頁 | | 二〇〇〇 |

判例評釈・判例解説等

会社解散の自由と不当労働行為

名城法字 三六卷二号九九頁

一九八六

バックペイと中間収入——第二鳩タクシー事件

労働判例百選「第六版」

有斐閣

一九九五

自己の都合による退職——新宿職安所長（京王交通）事件

社会保障法判例百選「第三版」

有斐閣

二〇〇〇

その他

労働者概念をめぐって

月刊労委労協 二二九号二八頁

一九七五

労使対等の原則の確立

ぎふ生コンニュース 六号一頁

一九七五

不当労働行為救済の方法をめぐって

月刊労委労協 三二一号二頁

一九八二

ロボットの導入とアセスメント

あすの三重 四六号二頁

一九八三

六五歳定年制の実状をみる——労働法ゼミでの調査から——

名城法字 四七卷三号二五九頁

一九九七